



株式会社 鶴見製作所

証券コード：6351

第66期

中間報告書

平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日

CONTENTS

トップメッセージ	P1
部門別の概況・財務ハイライト	P2
トピックス	P3
連結財務諸表	P4
会社概要・株式の状況	P5
製品紹介	P6

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

このたび、当社グループは、第66期中間決算（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）を終了しました。

ここに中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、一部に弱さがみられるものの、雇用・所得環境の改善が続く中で、政府及び日銀による経済政策を背景に景気は回復基調で推移しました。

しかしながら、為替相場における円高傾向、株式市場の不安定さが顕著となり、海外経済におきましては英国のEU離脱問題に伴う世界経済への影響、中国をはじめとした新興国や資源国等の景気減速懸念等があり、景気の先行きについては依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で当社グループは、国内部門では、建設機械市場におきましては、熊本地震復旧作業向け汎用ポンプの需要の高まり、後半にかけては台風災害対策として若干の回復傾向にはありましたが、前年からの建設工事の減少と人手不足、また、レンタル業者の手持ちレンタル資産も充実した感があり、全体としましては、前年同期に比べ売上高は減少しました。

設備機器市場におきましては、製造業の設備投資に一時的な休息感があったものの工場設備・水処理プラント関連・浄化槽向け需要、ゲリラ豪雨対策設備などの需要及び官公庁向けの売上が堅調に推移し、全体としまして売上高は増加しました。

海外部門では、北米市場におきましては、引き続き資源価格低下の影響により鉱山市場の需要が低迷し、原油、ガス価格下落の影響により油田、ガス田開発需要が低迷したことから、前年同期に比べ売上高は減少しました。

アジア市場におきましても中国をはじめとする新興国経済の減速等の影響によるインフラ投資の伸び

悩みにより、ポンプ需要に影響を与えたことから、前年同期に比べ売上高は減少しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、171億89百万円と前年同期比2.8%の減収、営業利益は、16億67百万円と前年同期比15.9%の減益、経常利益は、12億74百万円と前年同期比41.2%の減益、親会社株主に帰属する中間純利益は、8億66百万円と前年同期比39.0%の減益となりました。

なお、中間配当金につきましては、1株につき12円とさせていただきます。

今後のわが国経済は、引き続き緩やかな回復基調で推移するものと思われませんが、不安定な欧州及び中東の情勢、中国をはじめとするアジア新興国や資源国経済の先行き懸念の増大、海外経済の不確実性の高まりなどが懸念され、依然として景気の先行きは不透明な状況が続くものと思われま

す。その中で当社グループにおきましては、真のグローバル企業として確固たる体制を築くべく、引き続き業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



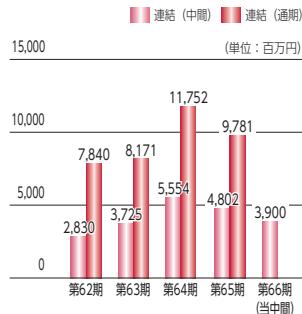
平成28年12月

代表取締役社長

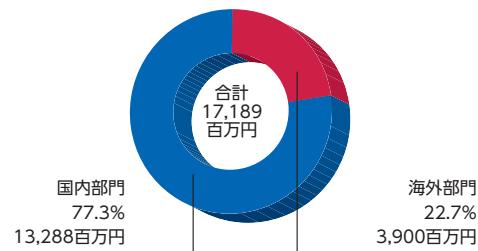
●国内部門



●海外部門



部門別売上構成比率



国内部門につきましては、建設機械市場におきまして、熊本地震復旧作業向け汎用ポンプの需要の高まり、後半にかけては台風災害対策として若干の回復傾向にはありましたが、前年からの建設工事の減少と人手不足、また、レンタル業者の手持ちレンタル資産も充実した感があり、全体としましては、前年同期に比べ売上高は減少しました。

設備機器市場におきましては、製造業の設備投資に一時的な休息感があつたものの工場設備・水処理プラント関連・浄化槽向け需要、ゲリラ豪雨対策設備などの需要及び官公庁向けの売上が堅調に推移し、全体としまして売上高は増加しました。

これらの結果、売上高は、132億88百万円と前年同期比3.1%の増収となりました。

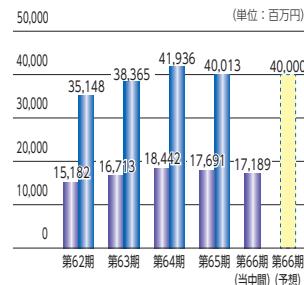
海外部門につきましては、北米市場におきまして、引き続き資源価格低下の影響により鉱山市場の需要が低迷し、原油、ガス価格下落の影響により油田、ガス田開発需要が低迷したことから、前年同期に比べ売上高は減少しました。

アジア市場におきまして中国をはじめとする新興国経済の減速等の影響によるインフラ投資の伸び悩みにより、ポンプ需要に影響を与えたことから、前年同期に比べ売上高は減少しました。

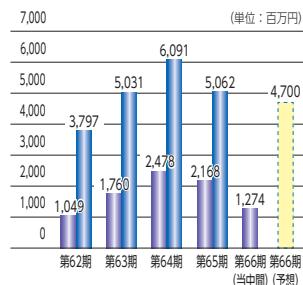
これらの結果、売上高は、39億円と前年同期比18.8%の減収となりました。

■連結(中間) ■連結(通期)

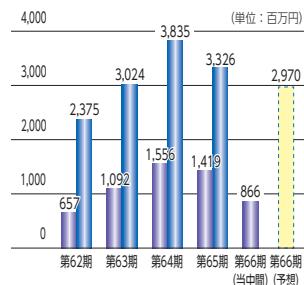
●売上高



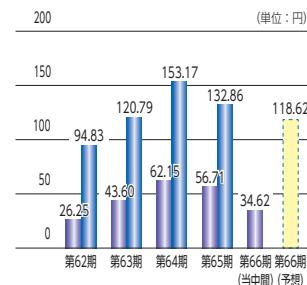
●経常利益



●親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



●1株当たり中間(当期)純利益



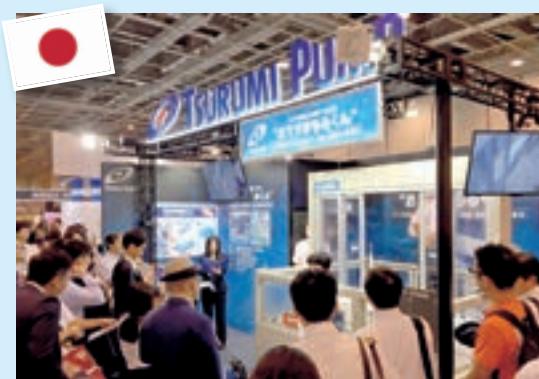
Topics

■ 展示会出展のご報告

当社は国内外で開催される展示会へ積極的に出展しております。写真は、日本『下水道展'16名古屋』、『オフィス防災EXPO』、ドイツ『IFAT 2016』、マレーシア『ASIAWATER 2016』における出展ブースの様子です。土木建設、下水道技術・汚水処理・環境関連、災害対策とテーマも様々であり、当期は特に新製品である簡易止水装置“おうちまもるくん”のPRのため数多くの展示会に出展させていただきました。

左上：下水道展'16名古屋
左下：IFAT 2016
右上：オフィス防災EXPO
右下：ASIAWATER 2016

海外においては現地社員並びに販売代理店のご協力のもと、出展を推し進めております。展示会への出展は当社製品を数多くのご来場者様へアピールできるだけでなく、コミュニケーションを図る絶好の機会ともなります。今後ともグローバルな企業活動に邁進してまいります。



●中間連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	前中間期 (平成27年9月30日現在)	当中間期 (平成28年9月30日現在)	前 期 (平成28年3月31日現在)
資産の部			
流動資産	35,472	34,334	38,027
固定資産	25,430	24,252	24,328
有形固定資産	11,673	11,139	11,407
無形固定資産	600	472	554
投資その他の資産	13,156	12,640	12,366
Point① 資産合計	60,902	58,586	62,355
負債の部			
流動負債	8,520	6,515	9,273
固定負債	2,341	2,305	2,437
Point② 負債合計	10,861	8,820	11,711
純資産の部			
株主資本	46,478	48,626	48,134
資本金	5,188	5,188	5,188
資本剰余金	7,896	7,896	7,896
利益剰余金	35,795	37,942	37,451
自己株式	△ 2,401	△ 2,401	△ 2,401
その他の包括利益累計額	2,654	353	1,593
その他有価証券評価差額金	1,298	840	1,018
為替換算調整勘定	1,300	△ 279	838
退職給付に係る調整累計額	54	△ 208	△ 263
非支配株主持分	907	786	915
Point③ 純資産合計	50,040	49,766	50,644
負債純資産合計	60,902	58,586	62,355

Point① 資産合計

資産につきましては、58,586百万円と前連結会計年度末に比べ3,769百万円減少しました。これは、主に受取手形及び売掛金が4,047百万円、たな卸資産が794百万円それぞれ減少し、現金及び預金が1,524百万円増加したことによるものであります。

●中間連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	前中間期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	当中間期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	前 期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
売上高	17,691	17,189	40,013
売上原価	11,501	11,459	26,308
売上総利益	6,190	5,729	13,704
販売費及び一般管理費	4,208	4,062	8,603
営業利益	1,981	1,667	5,100
営業外収益	367	271	608
営業外費用	180	663	645
経常利益	2,168	1,274	5,062
税金等調整前中間(当期)純利益	2,168	1,274	5,062
法人税、住民税及び事業税	632	308	1,488
法人税等調整額	88	87	109
中間(当期)純利益	1,447	877	3,464
非支配株主に帰属する中間(当期)純利益	27	10	137
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	1,419	866	3,326

●中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	前中間期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	当中間期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	前 期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,259	3,516	2,310
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 124	△ 818	△ 1,309
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 540	△ 415	△ 872
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 79	△ 629	△ 331
現金及び現金同等物の増減額	1,515	1,652	△ 202
現金及び現金同等物の期首残高	8,190	7,987	8,190
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	9,705	9,640	7,987

Point② 負債合計

負債につきましては、8,820百万円と前連結会計年度末に比べ2,891百万円減少しました。これは、主に支払手形及び買掛金が2,045百万円、未払法人税等が285百万円それぞれ減少したことによるものであります。

Point③ 純資産合計

純資産につきましては、49,766百万円と前連結会計年度末に比べ878百万円減少しました。これは、主にその他有価証券評価差額金が177百万円、為替換算調整勘定が1,118百万円それぞれ減少し、利益剰余金が491百万円増加したことによるものであります。

商号  株式会社 鶴見製作所
TSURUMI MANUFACTURING CO.,LTD.

大阪本店 〒538-8585
大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号
TEL (06) 6911-2351 (代)

東京本社 〒110-0016
東京都台東区台東1丁目33番8号
TEL (03) 3833-9765 (代)

創業 大正13年(1924年)1月5日
設立 昭和23年(1948年)2月12日
資本金 51億88百万円
従業員 989名(グループ計)
(注) 従業員数は嘱託、契約社員、パートを除いております。

●主要な事業内容

当社グループは、水中ポンプを主力とした各種ポンプとその関連機器の製造、仕入及び販売(輸出入を含む)並びに賃貸を行っており、それに附帯する修理及びアフターサービス並びに機械器具設置工事業、土木工事業、電気工事業、管工事業、水道施設工事業、清掃施設工事業、鋼構造物工事業、固定資産のリース業の事業活動を展開しております。

●役員

代表取締役社長	辻本 治
専務取締役	芝上 英二
取締役執行役員	西村 武浩
取締役執行役員	織田 浩孝
取締役執行役員	上田 孝徳
取締役執行役員	鞠山 正徳
取締役執行役員	掛川 雅仁
取締役執行役員	鹿内 茂行
取締役執行役員	田中 祥博
取締役執行役員	田中 剛史
取締役執行役員	足立 宗一郎
取締役執行役員	高田 功二
取締役執行役員	原田 秋佳
取締役執行役員	池田 茂

(注) 取締役掛川雅仁氏、鹿内茂行氏及び田中祥博氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

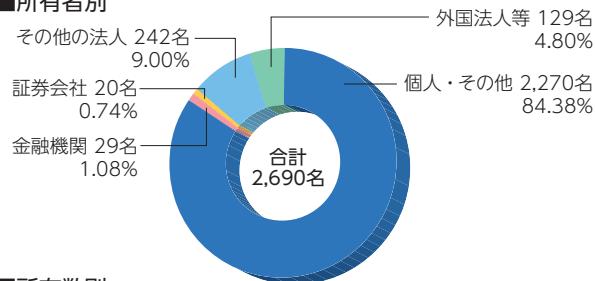
●発行可能株式総数 100,000,000株
●発行済株式の総数 27,829,486株
●株主数 2,690名
●大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
有限会社 ツルミ興産	1,904	7.61
ツルミ共栄会	1,559	6.23
株式会社 三井住友銀行	1,242	4.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	743	2.97
株式会社 三菱東京UFJ銀行	700	2.80
THE BANK OF NEW YORK, NON-TREATY JASDEC ACCOUNT	669	2.67
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	657	2.63
デンヨー株式会社	648	2.59
THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT	535	2.14
株式会社 有伸興産	518	2.07

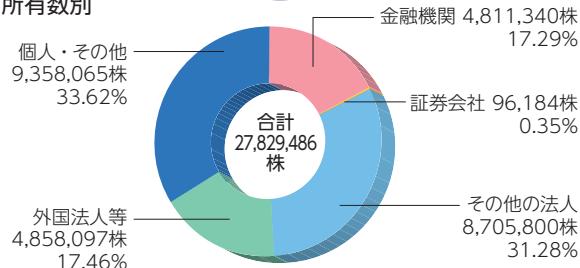
(注) 当社は自己株式2,790千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●株式の状況

■所有者別

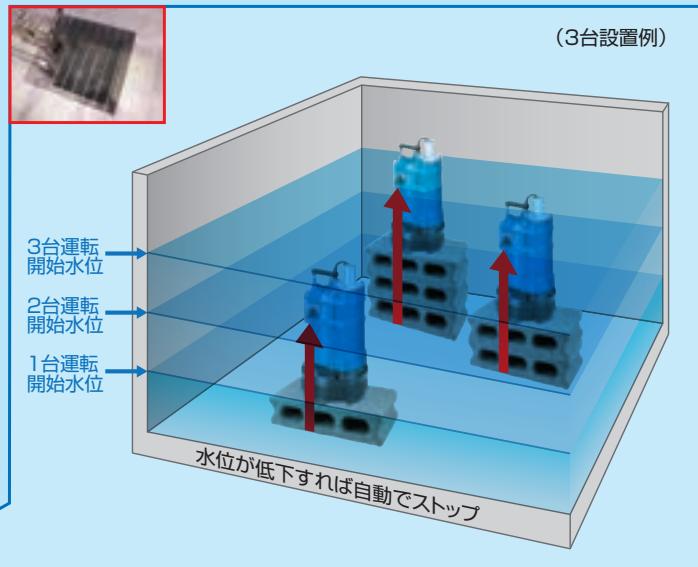


■所有数別



ゲリラ豪雨などによる、地下駐車場の浸水対策

大切な車が水没… そうなる前に早めの対策



電源を入れておくだけで水位が上昇すると自動排水!
水位調整はブロックやレンガなどで設置高さを調整するだけ!
複雑な設定などは一切不要です。

このような浸水の恐れがある地下駐車場などに設置する事で、
水没対策となります。

簡単自動運転ポンプ

水没対策は、ポンプと電源をつなぐだけ!!

比較的小規模施設には家庭用電源タイプ



HSE型(単相100V)

- 吐出し口径：50mm
- 出力：0.4kW
- 全揚程：8m
- 吐出し量：0.1m³/min

業務用電源がある施設には三相200Vタイプ



KTVE型(三相200V)

- 吐出し口径：50・80mm
- 出力：0.75~5.5kW
- 全揚程：10~22m
- 吐出し量：0.18~0.6m³/min

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

(インターネット
ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお問い合わせいたします。

公告方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.tsurumipump.co.jp/ir/announce/index.html>

上場取引所 東京証券取引所市場第一部

単元(100株)未満株式 買取・買増制度のご案内

当社では、単元株式(100株)に満たない株式の買取を行う「単元未満株式買取制度」、単元株式に不足する株式を買増し、単元株式としていただくことができる「単元未満株式買増制度」を導入しておりますのでご活用ください。

買増制度例



買取制度例



お手続きについて

単元未満株式が記録されている口座によって、お手続きの窓口が異なります。

1. 証券会社の口座に記録されている単元未満株式
お取引口座のある証券会社へお問い合わせください。
2. 特別口座に記録されている単元未満株式
当社の株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社へお問い合わせください。
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

ご注意事項

買増、買取単価は、そのご請求が当社株主名簿管理人事務取扱場所に到達した日の東京証券取引所における当社株式の最終価格です。

ホームページのご案内

<http://www.tsurumipump.co.jp/>



会社内をはじめとしてIR情報、採用情報及び製品情報など様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



この冊子は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。